

六甲高山植物園 初夏の人気者 ユキモチソウが見頃です

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:岡本交右)が、六甲山上で運営を行っている「六甲高山植物園」では、初夏の人気者「ユキモチソウ」が見頃を迎えました。

「ユキモチソウ」は、本州(静岡県・三重県・奈良県)・四国という限られた地域にしか自生がなく、現在は環境省のレッドデータ“絶滅危惧Ⅱ類”に指定されている希少な植物の1つです。ユニークな姿と愛らしい名前から園内で一際人気を集めています。

◆ユキモチソウ(サトイモ科)



本州(静岡県・三重県・奈良県)・四国の山地の林下に生える高さ30~50cmの多年草です。花の軸の上が白く丸くなっており、その形からお餅を連想して「雪餅草」と書きます。この筒の中に、小さな花がついた軸があります。後ろについている葉は仏炎苞で、外側が紫色、中にストライプの模様があり、一株が見ごろを迎えると、一際目立ちます。市街地では、なかなか見られないユニークかつ愛らしい形と、その名称から多くの観光客の人気を集めています。

当園に咲くユキモチソウは、園内に合計約60株点在しています。現在見頃を迎えており、5月上旬ごろまでお楽しみいただける見込みです。

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月21日(土・祝)~11月23日(月・祝) 【休園日】9月3日(木)、10日(木)

【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳~小学生)310円